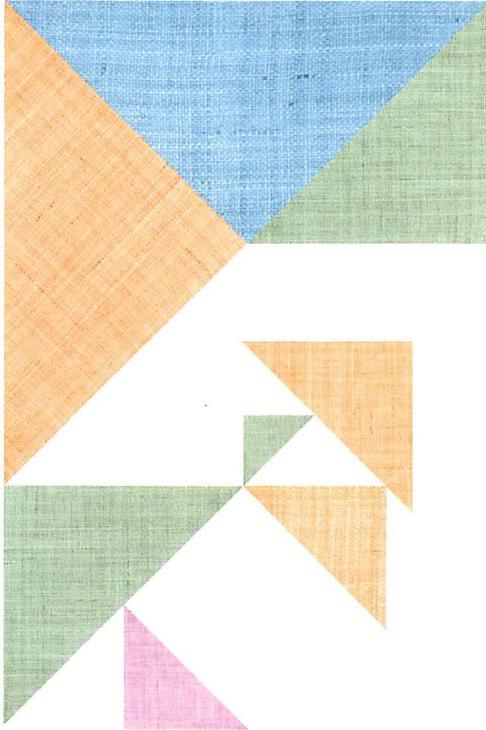




31st International Congress
on Occupational Health

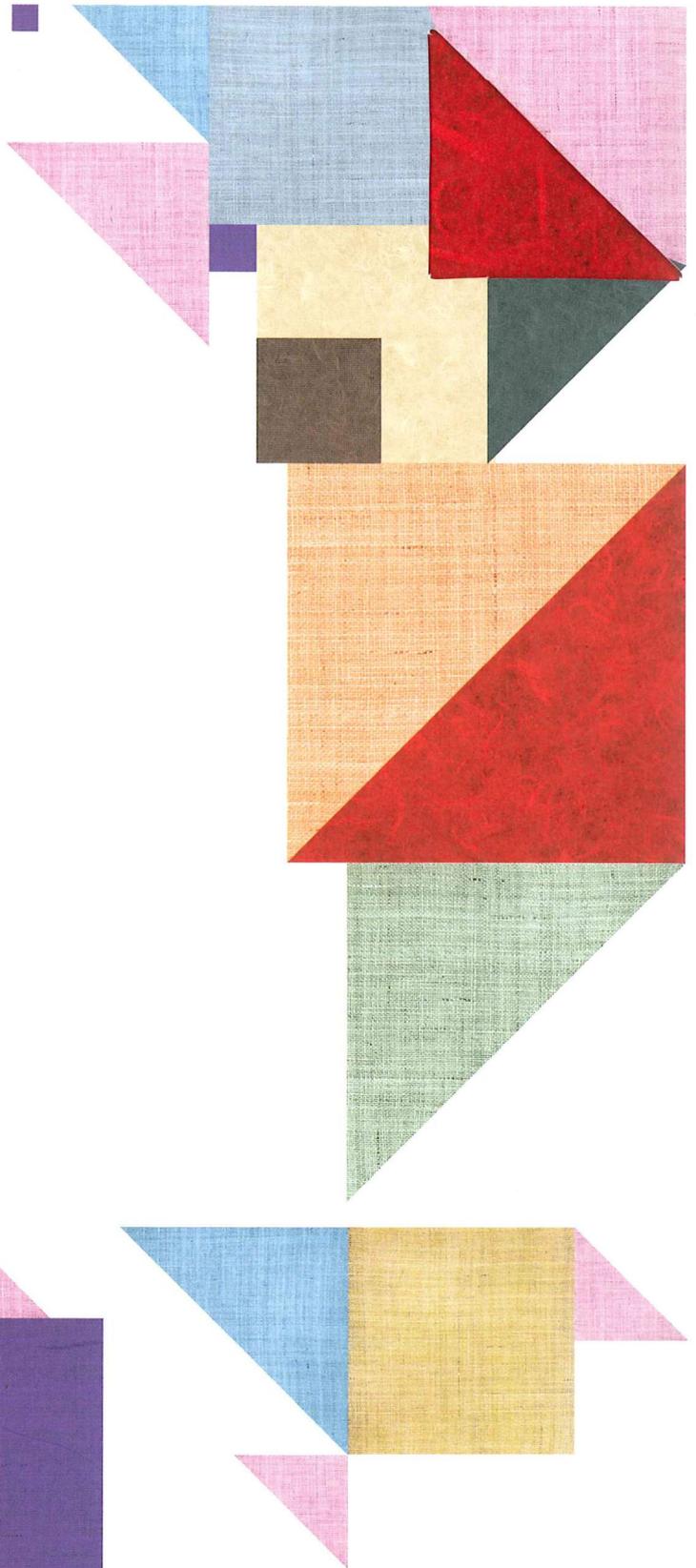


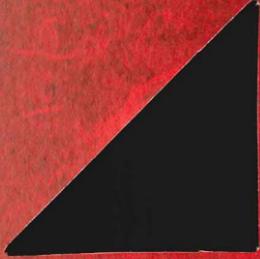
セカンドアナウンスメント



第31回 国際産業 保健会議

2015年5月31日(日)~6月5日(金)
韓国コエックスコンベンションセンター





産業保健の
グローバル
ハーモニーが
世界を結ぶ

第31回
国際産業
保健会議



CONTENTS

- 02 歓迎の辞
- 06 国際委員会
- 07 国内委員会
- 08 第31回 国際産業保健会議の概要
- 10 プログラム / 同時開催プログラム
- 12 基調講演の演者 / トピックス
- 13 政策フォーラム
- 14 参加登録 / スポンサーシップ
- 15 展示会
- 16 演題募集
- 17 主要日程
- 18 公式行事
- 19 同伴者プログラム
- 20 宿泊情報 / 会場
- 22 ソウル紹介
- 23 韓国の観光情報
- 24 主催 / 後援
- 25 お問い合わせ

産業保健の グローバルハ ーモニーが 世界を 結ぶ

31st International
Congress on
Occupational Health



第31回 国際産業保健会議シンボルロゴ

韓国の伝統的な『太極』の文様が地球を抱いているシンボルロゴは、第31回国際産業保健会議を通じて、労働安全衛生に係わる人々が調和しつなかり合うことを意味しています。また、先進国と開発途上国からの参加者が集い、世界の安全衛生の課題に関する相互協力と共同作業を推進するという、本会議のテーマ 'Bridge the World' を表現しています。

歓迎の辞

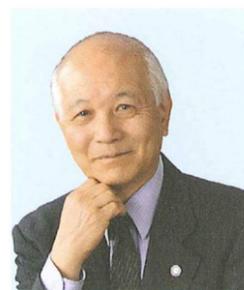
韓国ソウルで2015年5月31日から6月5日まで開催される第31回国際産業保健会議に皆様をお迎えすることを大変うれしく存じます。

「産業保健のグローバルハーモニー：世界を結ぶ(Global Harmony for Occupational Health: Bridge the World)」をテーマとする第31回国際産業保健会議は、グローバル化の過程で急激に変化する労働環境に対応し、労働者の健康を増進していくための私たちの課題を解決する重要なターニングポイントになることでしょう。

ソウル大会では、発展する産業保健分野の研究と経験を国際的に交流するための最高の場を提供いたします。ますます多様化する作業環境での複雑な作業のリスク管理のため、調和のとれた対策に目を向けるときです。2006年のミラノ大会において採択された国際産業保健学会(ICOH)創設100周年記念宣言では、職場での労働者の健康と福祉の増進に必要な行動指向型の研究と実践のための国際的な共同した努力が重要であることを再確認しました。そして、2008年の第18回世界産業安全保健会議の期間中に産業安全保健サミットが採択したソウル宣言では、その実行のための国際的なパートナーシップの必要性が詠われました。ICOHは優先順位をもって積極的なリスク評価と管理を行うこと、および効果的な産業保健サービスを全ての労働者に拡大することに重要な役割を果たすことができます。このソウル大会では建設的な協力活動に対する役立つ示唆が得られることでしょう。

今回の大会では、ICOHの35の科学委員会が積極的に参加してプログラムを作成しています。特に、問題解決中心のリスク管理とネットワークに基づいた相互協力を重点を置いております。今大会の基調演説、シンポジウム、ミニシンポジウム、特別セッション、ポスター発表を通じて、調和のとれた良好な産業保健実践への示唆が得られると確信しています。

第31回国際産業保健会議を成功に導くための準備が順調に進んでいます。ペク・ホンギ大会長をリーダーとする国内組織委員会が、韓国産業安全保健公団(KOSHA)並びに大韓職業環境医学会(KSOEM)の著名な研究者や専門家とともに、最高のプログラムと最上の学会環境を用意しています。この大会は、新しい知識と技術の積極的な交流を実現することにより、国際的な協力を通じて労働者の健康の保持・増進という私達共通の目的を成就するための有意義な成果をもたらしてくれることでしょう。本大会が、専門知識を持つ皆様のご参加のもと、革新的なアイデアを共有し、世界とコミュニケーションできる場になることを楽しみにしています。



国際産業保健学会(ICOH) 会長
Kazutaka Kogi

歓迎の辞



第31回 国際産業保健会議組織委員長
韓国産業安全保健公団理事長
Hun-Ki Baek

Baek, Hun-ki

韓国のソウルで2015年5月31日から6月5日まで開催される第31回国際産業保健会議に皆様をご招待いたしますことをうれしく存じます。

韓国産業安全保健公団では、2008年にソウルで開催された第18回世界産業安全保健会議にて採択された産業安全保健ソウル宣言を遂行し、予防文化を世界に広めるために国際的な協力をしています。今回の国際産業保健会議を通じて、勤労者の健康増進のためのグローバルな協力方案を打ち出すために最善を尽くしています。

世界的な経済危機の余波とグローバル化の進展による労働環境の変化や新技術の発展に伴って、健康を脅かす新たな要因が出現し、産業現場における労働者の健康が常に危険にさらされている今、世界各国の産業保健の専門家と研究者が集い、懸案を論議し、解決のための方案を提示する国際的な努力が必要だと考えられます。

2015年のソウル大会は、「産業保健のグローバルハーモニー：世界を結ぶ (Global Harmony for Occupational Health: Bridge the World)」をスローガンに、産業保健の専門家と研究者の間の国際的な協力とグローバルハーモニーを通じて、全世界の産業保健の増進に寄与するコミュニケーションの場となることでしょう。ソウル大会では、シンポジウムならびに特別セッションなどを通じて最新の産業保健の知識と技術、研究結果を共有することができるものと期待しています。また、国際的な産業保健の課題に対する論議を通じて解決策を示し、国際社会における産業保健の発展の方向を定める重要なきっかけを提供することでしょう。

また、この度のソウル大会では、全世界の安全保健の専門家が共に災害予防について論議するために、第30回アジア太平洋労働安全衛生機構 (APOSHO) の年次会議ならびに第26回韓日中産業保健学術集談会が同時に開催されます。また、大会の直前には第10回世界保健機関産業保健協力センター会議 (WHO-CC) が開催されるなど、全世界の安全保健関係者の和合の場となるものと思われま。

韓国産業安全保健公団では、大会の歴史と名声にふさわしい最高レベルの国際大会となるように、最善の努力を尽くします。本大会の成功に向けて、ご関心をお寄せいただきますようお願い申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

歓迎の辞

親愛なる国際産業保健学会会員の皆様、大韓職業環境医学会は大会の共同開催機関として2015年5月31日から6月5日まで韓国のソウルで開催される第31回国際産業保健会議に皆様をご招待いたしますことをうれしく存じます。

600年の歴史を持つ首都ソウルは、過去と現在、そして未来が共存する都市です。産業保健の歴史はソウルにある数多くの歴史的な記念物の中に宿っており、皆様はその中に労働の価値を垣間見ることができます。

韓国社会は高度経済成長を遂げる中で、数々の産業保健の問題を経験し、最近数十年間、その問題を解決するために政労使と専門家が共に努力してきました。その結果、産業保健分野において多くの研究が重ねられ、比較的短い時間の中で関連政策を樹立してきました。韓国ならびに先進国の経験は良き資料となると考えられます。皆様が2015年国際産業保健会議でそのような産業保健問題に対する解決策を見出し、皆様の多くの経験と知識を分かち合うことができますことを望んでおります。

国際産業保健会議は、産業保健に関する職業環境医学専門医、安全保健専門家、研究者および政策樹立者が科学的な証拠と優れた事例を交換することのできる最高の機会となることでしょう。

大韓職業環境医学会は、2015年国際産業保健会議において皆様と一緒にすることを心より望んでおります。



大韓職業環境医学会会長
Yang-Ho Kim

歓迎の辞



韓国雇用労働部長官
Ki-Kweon Lee

Lee Ki-Kweon

韓国雇用労働部は、2015年5月31日より6月5日までソウルで開催される第31回国際産業保健会議を積極的に後援します。

雇用労働部をはじめとする韓国政府は、2009年、国際産業保健会議のソウル誘致のために積極的な支援を行いました。2012年には大会開催の準備事務引継ぎのために雇用労働部長官と国会議員がメキシコカンクン大会に参加し、大会の開催成功に向けて支援することを約束しました。

産業保健のための国際的な調和と協力（Global Harmony for Occupational Health: Bridge the Word）をスローガンとして掲げるソウル大会を通じて、韓国の産業保健政策とその活動を国際社会に紹介することにより、世界の労働者の産業保健を増進するための国際的な協力体系がさらに堅固なものとなることを期待しています。

雇用労働部は、労働界および雇用主、そして産業安全保健を担当する社会の各階各層と協力することによって、ソウル大会が韓国の産業安全保健技術と知識を一段階発展せしめる契機となり、さらには産業安全保健に対する国際的な交流と協力がさらに活発に行われるよう、韓国産業安全保健公団と共に持続的に努力してまいります。

最後に、全世界のすべての産業安全保健関係者の皆様のご関心と積極的なご参加をお願い申し上げます。

国際委員会

国際組織委員会

- Dr. Kazutaka Kogi (委員長, ICOH 会長)
- Prof. Bonnie Rogers (ICOH 副会長)
- Ms. Suvi Lehtinen (ICOH 副会長)
- Dr. Sergio Iavicoli (ICOH 事務局長)
- Mr. Hun-Ki Baek (韓国産業安全保健公団理事長)
- Dr. Yang-Ho Kim (大韓職業環境医学会会長)
- Dr. Seong-Kyu Kang (韓国産業安全保健公団技術理事)
- Mr. Gye-Wan Bae (韓国産業安全保健公団室長、大会事務局長)

国際学術委員会

- Prof. Bonnie Rogers (委員長, ICOH 副会長)
- Dr. Kazutaka Kogi (ICOH 会長)
- Ms. Suvi Lehtinen (ICOH 副会長)
- Dr. Sergio Iavicoli (ICOH 事務局長)
- Prof. Jorma Rantanen (ICOH)
- Dr. Patabendi Abeytunga (ICOH)
- Dr. Andrew Curran (ICOH)
- Dr. Marilyn Fingerhut (ICOH)
- Dr. Seong-kyu Kang (ICOH)
- Prof. Norito Kawakami (ICOH)
- Prof. Yves Roquelaure (ICOH)
- Prof. Malcolm Sim (ICOH)
- Dr. Seiji Machida (ILO)
- Dr. Ivan Dimov Ivanov (WHO)

- Dr. Hans-Horst Konkolewsky (ISSA)
- Dr. Eric Min-yang Wang (IEA)
- Mr. Jakob Naerheim (IOHA)
- Prof. Pau-Chung Chen (IOMIH)

科学分科委員会

- Mr. Keith Scott
- Dr. Clas-Håkan Nygård
- Prof. Mario Di Gioacchino
- A/P Akizumi Tsutsumi
- Prof. F.J.H. Van Dijk
- Prof. Dana Loomis
- Dr. Stefano Mattioli
- Dr. Michele Augusto Riva
- Prof. Paolo Carrer
- Dr. Nils Plato
- Dr. Paul A. Schulte
- Dr. W. Kent Anger
- Prof. Swen Malte John
- Dr. Shyam Pingle
- Dr. William G Buchta
- Mrs. Louwna Pretorius
- Prof. Dongmug Kang
- Prof. Malcolm Sim
- Dr. Paula Naumanen
- Dr. William Murray Coombs
- Dr. Jean-Francois Boulat
- Prof. Maurizio Manno
- Prof. Fabriziomaria Gobba
- Prof. Pau-Chung Chen
- Prof. Yukinori Kusaka
- Dr. Gert Van Der Laan
- Prof. Frida Marina Fischer
- Dr. Hannu Rintamaki
- Prof. Lars Barregård

- Prof. Jukka Vuori
- Dr. Mats Hagberg
- Dr. Julietta Rodriguez-Guzman
- Dr. Ruddy Cesar Facci
- Prof. Glenn S. Pransky
- Prof. Stavroula Leka

名誉委員会

- Prof. Jorma Rantanen (委員長)
- Prof. Jean Francois Caillard
- Dr. Ruddy Cesar Facci
- Prof. Vito Foa
- Prof. Jerry Jeyaratnam
- Prof. Bengt Knave
- Prof. Daniel J. Kocks
- Dr. Jorge Morales

財政委員会

- Prof. Toshiteru Okubo (委員長)
- Dr. John Harrison
- Dr. John Howard
- Ms. Jennifer Rose Serfontein
- Prof. David H. Wegman

国内委員会

国内組織委員会

- Mr. Hun-Ki Baek (委員長: 韓国産業安全保健公団理事長)
- Dr. Yang-Ho Kim (大韓職業環境医学会会長)
- Mr. Hyung-Chul Choi (韓国産業安全保健公団教育安全文化理事)
- Dr. Jung-Sun Park (韓国産業安全保健公団研究院長)
- Dr. Seong-Kyu Kang (ICOH 理事)
- Prof. Jae-Hoon Roh (ICOH)
- Mr. Wang Kim (雇用労働部課長)
- Mr. Keun-Sop Chang (雇用労働部課長)
- Mr. Sang-Jin Lee (全国民主労働組合総連盟副委員長)
- Ms. Young-Sook Jung (韓国労働組合総連盟本部長)
- Dr. Subong Chun (大韓商工会議所常務)
- Mr. Kee-Jung Rhu (韓国経営者総協会本部長)
- Prof. Nahmkeon Hur (大韓機械学会会長)
- Prof. Seong-Rok Chang (大韓人間工学会会長)
- Dr. Ho-Yong Kim (大韓電気学会会長)
- Prof. Myung-Haing Cho (韓国毒性学会会長)
- Prof. Dong-Wook Park (韓国産業衛生学会会長)
- Prof. Keun-Oh Lee (韓国安全学会会長)
- Prof. Mina Ha (韓国職務ストレス学会会長)

- Dr. Hye-Sun Jung (韓国職業健康看護学会会長)
- Mr. Si-Yeol Kim (社安全生活実践市民連合事務総長)
- Mr. Jung-Soo Lee (韓国保護区協会会長)
- Prof. Hee-Geul Kim (韓国産業看護学会会長)
- Dr. Woon-Taek Shim (大韓産業保健協会会長)
- Mr. Jun-Gyu Shin (大韓産業安全協会会長)
- Mr. Yeo-Song Yoon (韓国危険物学会理事)
- Dr. En-Sup Yoon (韓国安全専門機関協議会会長)
- Dr. Jae-Wook Choi (高麗大学校)
- Dr. Hyun-Sul Lim (東国大学校)
- Dr. Soo-Hun Cho (ソウル大学校)
- Dr. Kuck-Hyun Woo (順天郷大学校)
- Prof. Dong-mug Kang (釜山大学校)
- Dr. Se-Hoon Lee (カトリック大学病院)
- Dr. Jae-Chul Song (漢陽大学校)
- Mr. Mo-Won Kwak (現代建設常務)
- Mr. Dong-Suk Kim (現代自動車理事)
- Mr. Haeng-Bong Ha (GS建設常務)
- Mr. Yang-Soo Lee (SKイノベーション本部長)
- Mr. Gye-Wan Bae (幹事; 韓国産業安全保健公団室長)

国内学術委員会

- Prof. Yun-Chul Hong (委員長: ソウル大学校)
- Dr. Seong-Kyu Kang (ICOH 理事会理事)

- Mr. Beom-Seok Kim (安全行政部書記官)
- Mr. Se Wan Oh (雇用労働部事務官)
- Dr. Kyung-Suk Lee (農村振興庁研究員)
- Mr. Ki-Hong Cho (韓国労働組合総連盟局長)
- Dr. Yun-Keun Lee (ウォンジン労働環境研究所副所長)
- Mr. Woo-Taek Lim (韓国経営者総協会チーム長)
- Prof. Bok-Im Lee (蔚山大学校)
- Prof. Chung-Sik Yoon (ソウル大学校)
- Prof. Hyeon-Kyo Lim (忠北大学校)
- Prof. Jae-Hee Park (漢陽大学校)
- Prof. Dong-Myeong Ha (世明大学校)
- Prof. Yoon-Gyoon Kim (檀国大学校)
- Prof. Il-Je Yu (湖西大学校)
- Prof. Hae-Kwan Cheong (成均館大学校)
- Prof. Heoung-Jae Chun (延世大学校)
- Mr. Han-Sang Kim (韓国電気安全公社部長)
- Prof. Hyoung-Ryoul Kim (カトリック大学校)
- Prof. Jang-Won Yoon (湖西大学校)
- Prof. Young-Ki Kim (釜山大学校)
- Prof. Dae-Seong Kim (高麗大学校)
- Ms. Myung-Sook Lee (大韓産業保健協会理事)
- Prof. Kyung-Ja June (順天郷大学校)
- Mr. Kyung-Chae Yoon (大韓産業安全協会本部長)
- Prof. Dong-Il Shin (明知大学校)
- Prof. Hong-Seob Ahn (群山大学校)
- Dr. In-Sik Jeon (現代自動車部長)
- Mr. Kwan-Sick Kim (サムスン電子部長)
- Dr. Seung-Joo Lee (韓国3Mコリア理事)
- Dr. Eun-A Kim (韓国産業安全保健公団室長)
- Dr. Hyuck-Myun Kwon (韓国産業安全保健公団支社長)

第31回 国際産業保健会議の 概要

開催目的

- ・産業安全保健分野における研究成果、知識および経験を共有し、学術的發展に寄与する
- ・全世界の産業安全保健の専門家の連帯を強化することによる相互協力体制の確立
- ・産業安全保健分野における実践知を發展させる場を構築

大会モットー

産業保健のグローバルハーモニー：世界を結ぶ
(Global Harmony for Occupational Health: Bridge the World)

期間	2015. 5. 31(日)~6. 5(金)
会場	コエックス (COEX)
主催	ICOH (International Commission on Occupational Health) 韓国産業安全保健公団 (KOSHA) 大韓職業環境医学会 (Korean Society of Occupational & Environmental Medicine)
後援	韓国雇用労働部 (MOEL)
公式言語	英語、フランス語、韓国語
参加対象	産業安全保健分野に関連するあらゆる専門家および関係者 ・ 政府官僚、政策決定者、労働者代表、経営者 ・ 労働者および事業主 ・ 安全および保健管理者、産業安全および産業衛生関連技術資格者 ・ 職業環境医学専門医、職業環境医学従事者 ・ 労働監督官 ・ 教授、講師、研修担当者、教員など教育分野の従事者 ・ 公共分野および社会保障分野の意思決定者 ・ 公共および民間機関(国際機構または地域機構)専門家 ・ 安全保健環境製品などの製造者および輸入業者 ・ 広報およびPR専門家 ・ 言論機関代表、ジャーナリスト
オフィシャルサイト	www.icoh2015.org

プログラム

区分	5月31日(日)	6月1日(月)	6月2日(火)	6月3日(水)	6月4日(木)	6月5日(金)	6月6日(土)
TIME	ブ		ロ	グ	ラ	ム	
08:30~09:15				基調講演			国際産業保健学会 新任理事会 08:30~12:30
09:15~10:00				基調講演			
10:00~11:00	登録	国際産業保健 学会理事会 08:30~13:00		休憩			
11:00~11:45			招待講演		招待講演		
11:45~12:00			休憩	政策フォーラム		休憩	
12:00~12:45			招待講演		招待講演		
12:45~14:15				昼食			
14:15~15:45	第1回ICOH総会 14:00~16:30		ミニシンポジウム	セミナー、ワークショップ、特別セッション、口頭発表		閉会式 14:00~15:30	
15:45~16:00				休憩		第2回ICOH総会 15:30~17:30	
16:00~17:30	休憩		ミニシンポジウム	セミナー、ワークショップ、特別セッション、口頭発表			
17:30~19:30	開会式 17:00~19:00			ポスターセッションおよび安全保健展示会(09:00~17:00)			
17:30~19:30				ビジネスミーティング(17:30~19:30)			
19:30~21:30	歓迎レセプション 19:00~21:00	自由時間	韓国の夕べ 19:30~22:00	自由時間	フェアウェル晩餐会 20:00~22:30		

同時開催プログラム

Parallel Conferences with ICOH Congress 2015

APOSHO 30

第30回アジア・太平洋労働安全衛生機構年次総会(APOSHO 30)

- ・期間: 2015. 5. 31(日) ~ 6. 5(金)
- ・会場: コエックス(COEX)
- ・参加者数: 約300人
- ・主なプログラム
 - 開会式
 - 全体会議
 - セッション運営
 - フェアウェル晩餐会など

10th Meeting of the WHO CCs

第10回世界保健機関協力センター(WHO-CC) グローバルネットワーク会議

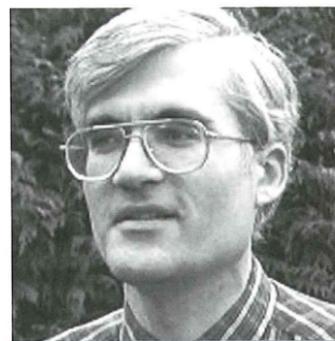
- ・期間: 2015. 5. 28(木) ~ 5. 29(金)
- ・会場: 済州島(予定)
- ・参加者数: 約150人
- ・主なプログラム
 - GPA Priority会議
 - 全体会議
 - 実務グループ会議
 - フェアウェル晩餐会

25th KCJ Joint Conference

第25回韓中日産業保健学術集談会

- ・期間: 2015. 6. 3(水)
- ・会場: コエックス(COEX)
- ・参加者数: 約200人
- ・主なプログラム
 - 開会式
 - 全体会議
 - シンポジウムなど

基調講演演者



◀ Prof. Raymond Agius
University of Manchester
英国

監視体系から見た職業病の社会的費用



◀ Dr. Benoit Nemery de Belleaux
University of Leuven
ベルギー

作業場および我々の社会に存在する鉛、カドミウムまたは水銀を含む毒性金属



◀ Prof. Nico Dragano
University of Dusseldorf
ドイツ

健康格差を引き起こす重要な要因としての職業の役割



▲ Prof. Monique Frings-Dresen
University of Amsterdam
オランダ

作業上の不調和の要因：作業関連筋骨格疾患を中心として



▶ Prof. Yangho Kim
蔚山大学病院 産業環境保健センター
韓国

予防文化 - 産業保健実務を中心として



▶ Dr. Barry Kistnasamy
National Institute for Occupational Health
南アフリカ共和国

非公式経済の中の勤労者たち



◀ Dr. Glenn Pransky
Liberty Mutual
アメリカ

労働力の喪失予防 - 高齢勤労者に関する解決案



◀ Dr. Kai Savolainen
Finnish Institute of Occupational Health
フィンランド

ナノテクノロジー - パンドラの箱がそれとも未来の約束か



◀ Dr. 高橋謙
産業医科大学
北九州 / 日本

アスベスト症および関連疾病：職業病か労働者個人の病か

トピックス

- ・事故防止
- ・高齢化と労働
- ・アレルギーと免疫毒性学
- ・産業保健における心疾患
- ・産業安全保健の教育研修
- ・産業保健における疫学
- ・産業保健におけるヘルスサービス研究と評価
- ・職業性および環境に関する疾病予防の歴史
- ・室内空気と健康
- ・産業衛生工学
- ・筋骨格疾患
- ・ナノ物質と労働者の健康
- ・神経毒性学および心理生理学
- ・職業性および環境性皮膚疾患
- ・産業保健看護学
- ・産業医学
- ・産業毒性学
- ・開発途上国における産業保健
- ・保健医療従事者の産業保健
- ・化学産業の産業保健
- ・建設業の産業保健
- ・健康安全文化
- ・放射線と職業
- ・職場の生殖毒性
- ・呼吸器疾患
- ・農村の産業保健：農業労働、殺虫剤および有機溶剤
- ・交替勤務と労働時間
- ・小規模事業場およびインフォーマルセクター労働
- ・温熱要因
- ・重金属の毒性学
- ・失業、雇用不安と健康
- ・震動と騒音

政策フォーラム

- ・女性の健康と労働
- ・労働と視力
- ・労働障害の予防と回復
- ・職場の組織と社会心理要因
- ・鉱山における労働安全衛生
- ・産業保健と社会的決定要因
- ・産業保健におけるコミュニケーション
- ・職業性感染症
- ・産業保健における参加型改善手法
- ・アスベスト関連職業病の除去
- ・若年労働者および児童労働

政策フォーラムは第31回国際産業保健会議における重要な行事の一つです。政府関係者とWHO、ILO代表、関連する組織・団体、労使団体の代表などが参加し、政策立案者とともに、事業場の安全衛生方針を全ての場所で労働者にとってより効率的になるよう考える場です。政策フォーラムを通じて導き出される、安全衛生の新たな戦略的方策は、世界の産業安全衛生政策の新たな基盤となることでしょう。政策フォーラムのセッションには、本大会のすべての参加者が参加することができます。このフォーラムを通じてさまざまな情報の共有、新たな学び、および人的ネットワークの形成の機会が得られると考えられます。さらには、政策決定者に仕事と関連した疾病、けが、死亡を予防するための実質的な知識の基盤を提供することにより、予防文化の向上に大きく貢献することでしょう。

参加登録

登録料

区分	ICOH会員		ICOH非会員		同伴者
	一般	途上国, 36才未満, またはAPOSHO 会員	一般	途上国, または36才未満	
2014.9.30まで	USD 600	USD 300	USD 700	USD 400	USD 100
2015.1.31まで	USD 700	USD 350	USD 800	USD 450	USD 150
2015.4.30まで	USD 900	USD 450	USD 1,000	USD 550	USD 150
当日登録	USD 1,000	USD 500	USD 1,100	USD 600	USD 200

- ・国際産業保健学会に入会し、登録料の割引の適用を受ける場合には下記のリンクをご参照ください。
http://www.icohweb.org/site_new/ico_members.asp
- ・年齢による割引は、パスポートなどの証明書による確認が必要です。満35才未満（1980年5月31日以降に出生）の方に適用されます。
- ・登録費にはすべてのセッション、歓迎レセプション、フェアウェル晩餐会、韓国の夕べ、展示会への参加費が含まれています。
- ・同伴者の登録費には、歓迎レセプションとフェアウェル晩餐会、韓国の夕べ、安全保健展示会、同伴者用登録物品が含まれています。

スポンサーシップ

- ・後援内容: 晩餐などの行事の後援、記念品など物品の支援など
- ・スポンサー企業のメリット(後援の規模に応じて決定します)
 - 大会ホームページにスポンサー表記およびバナーリンク提供
 - 大会公式ロゴの使用
 - 案内書などにスポンサーを表記
 - 会場(全体会議、開会式・閉会式など)および展示会場にスポンサーのバナー表記
 - 展示ブースの提供
- ・スポンサーシップのお問い合わせ: icoh2015@kosha.or.kr(+82-52-703-0747~754)
- ・ホームページ: www.icoh2015.org

開発途上国参加者への参加助成プログラム

2003年以降のこれまでの大会と同様に、第31回国際産業保健会議の組織委員会は、開発途上国からの参加者を支援します。第31回国際産業保健学会に演題を応募する開発途上国からの参加者は、このために割り当てた予算の範囲内で、部分または総額助成支援に申請することができます。必要条件などの詳しい内容は演題応募時に第31回国際産業保健会議の公式ウェブサイトでご確認いただけます。

学生ポスター賞

国際産業保健委員会(ICOH)は、第3回学生ポスター賞を開催します。申込み資格として、大会の登録フォームに学生であることを必ず明記の上、大会前に産業保健分野の研究に関する演題抄録を提出し、特別セッションに展示するポスターを準備する必要があります。国際的な審査員チームはポスターの学術性、ポスター表現の質と明確さ、発表する学生の質疑応答能力などによりポスターを評価します。最優秀ポスター発表者には閉会式で授賞ならびに副賞が授与されます。

国際労働機関(ILO)専門家コースへの奨学金

第31回国際産業保健会議の開催にあたり、所定の奨学金を、国際労働機関(ILO)産業安全保健専門家コースへの参加者に授与します。この奨学金は、第31回国際産業保健大会の参加者のうち開発途上国出身で、同大会に演題を発表した候補者2人に授与されます。この奨学金はイタリアのトリノにある国際労働機関国際研修センター(ITC-ILO)キャンパスにおける宿泊および食事一式の費用を負担します。希望者は2014年12月31日時点で国際産業保健学会の正会員である必要があります。希望者の受付に関する内容は、2014年6月30日までに国際産業保健学会の公式ホームページ(www.icohweb.org)に掲載される予定です。

展示会

- ・期間: 2015. 6. 1(月)~ 6. 4(木)
- ・会場: ソウルCOEX Hall D
- ・参加企業: 国内外の産業安全保健優秀企業約50社
- ・参加のお問い合わせ: icoh2015@kosha.or.kr
(+82-52-703-0747~754)
- ・ホームページ: www.icoh2015.org

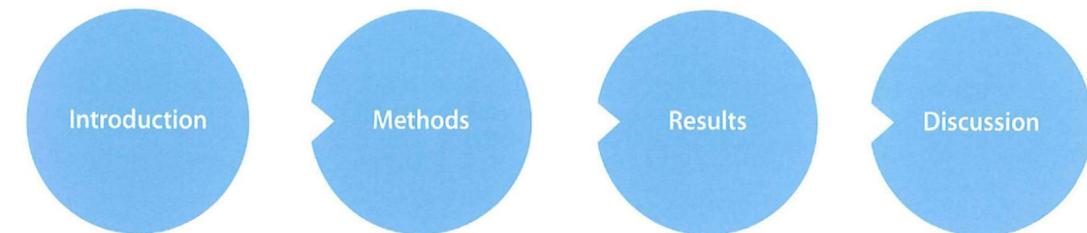


演題募集

スケジュールと留意事項

- ・演題抄録はオンラインでのみの受付となります。様式など提出に関する詳しい内容はホームページ(www.icoh2015.org)をご参考ください。
- ・演題抄録の受付が完了すると代表者に確認のメールが發送され、演題抄録に受付番号が割り当てられます。
- ・演題抄録は抄録集に掲載されます。大会のトピックスに合った内容を決められた様式で提出してください。
- ・演題抄録は英語での提出となります。
- ・演題抄録は300ワード語未満で作成してください(タイトル、キーワード、名前および機関名を除く)。
- ・タイトルは200字未満、12ポイントのArialフォントで作成してください。
- ・著者名は11ポイントのArialフォントはで、イニシャルと姓を記載してください。著者が複数の場合は、名前と名前はコンマで区切ってください。
- ・著者の所属については、上付き数字を各々の氏名の後に示してください。
- ・所属は10ポイントのArialフォントのイタリック体で、植槻の番号の後に、機関名、都市名、国名の順に記載してください。所属が2つ以上の場合にはコンマで区切ってください。

- ・発表者の氏名にはアンダーラインを引いてください。
- ・キーワードを3語以内で、11ポイントのArial太字フォントで記載してください。
- ・抄録の本文は、11ポイントのArialフォントで、シングルスペースで記載してください(左揃えにしてください;右揃えは禁止です)
- ・本文は、太字の見出しを使ってで4つに区分してください。



- ・その他詳しい内容はホームページ(www.icoh2015.org)をご参考ください。
- ・スケジュール

演題抄録提出
2014年
8月31日

演題抄録の審査
および選定
2014年
11月15日

主要日程

2014
8.31

演題抄録の提出

2014
9.30

早期事前登録締切

2014
11.15

演題抄録の審査

2015
1.15

演題受理の通知

公式行事



韓国の夕べ (Korean Night)

- ・日時: 2015. 6. 2(火)
19:30~22:00
- ・会場: COEX D2

フェアウェル晩餐会 (Gala Dinner)

- ・日時: 2015. 6. 4(木)
20:00~22:30
- ・会場: レッツランパークソウル
コンベンションホール



開会式/歓迎レセプション (Opening Ceremony / Welcome Reception)

- ・日時: 2015. 5. 31(日)
- 17:00~19:00 開会式
- 19:00~21:00 歓迎レセプション
- ・会場: COEX D2

同伴者プログラム



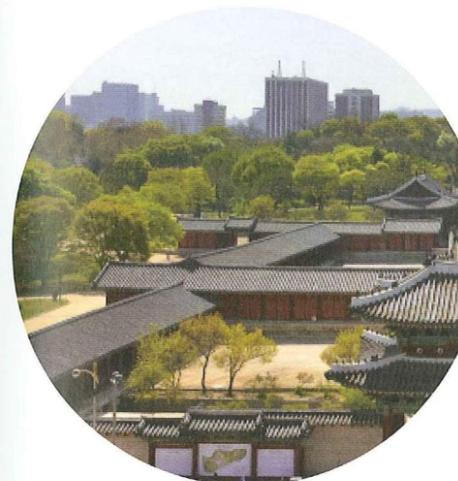
景福宮

景福宮は朝鮮王朝第一の法宮で、1395年に太祖李成桂によって北岳山を背に建てられ、光化門を正門として広い六曹通り（現在の世宗路）がある漢陽都市計画の中心です。



昌慶宮

昌慶宮は成宗14年(1483)に世祖妃の貞喜王后、睿宗妃の安順王妃、徳宗妃の昭恵王后の三人の王妃を祀るために寿康宮跡に建てられた王宮です。



東大門デザインプラザ

東大門デザインプラザには「すでに訪れている未来」があります。古い未来、新しい過去、異なるものに対する寛容、慣れた新しさ—そんなデザインがあります。

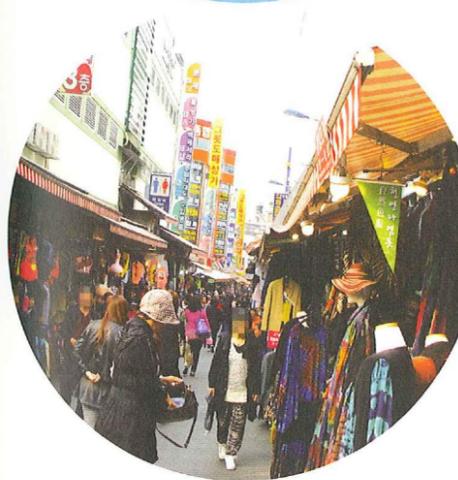


閉会式 (Closing Ceremony)

- ・日時: 2015. 6. 5(金)
14:00~15:30
- ・会場: COEXオーデトリウム

見学ツアー (Technical Tour)

- ・日時: 2015. 6. 2(火) ~3(水)
- ・会場: 事業場および文化遺跡地など



南大門市場

南大門市場は東大門市場と共にソウルの二大市場の一つで、崇礼門（南大門）の東側に位置しており、その始まりは朝鮮初期の太宗の時代にまでさかのぼります。

※上記の内容は参考事項であり、実際のプログラムとは異なる場合があります。

世界の産業安全保健の
専門家が
皆様をお待ちしております

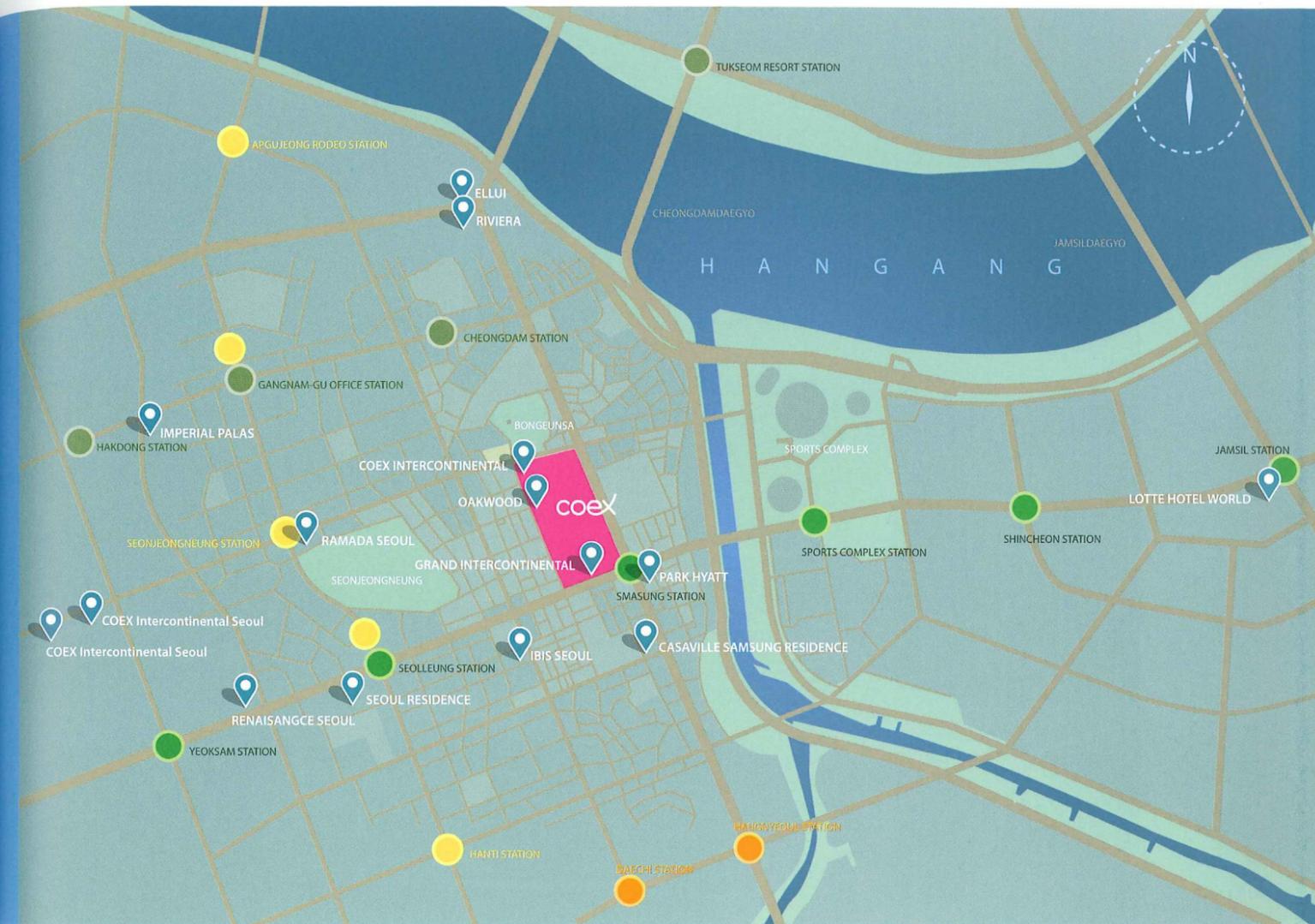
宿泊情報

ホテル

会場のコエックスコンベンションセンター周辺のホテルです。
大会事務局では今後、大会公式ホテルを選定してお知らせする予定です。

ホテル等級	ホテル名	Website	会場までの距離
★★★★★	コエックスインターコンチネンタルソウル	www.iccoex.com/eng/index.do	会場
★★★★★	グランドインターコンチネンタルソウル	www.grandicparnas.com	会場
★★★★★	パークハイアット	www.seoul.park.hyatt.kr/en/hotel/home.html	徒歩5分
★★★★★	ロッテワールド	www.lottehotelworld.com/en/index.asp?lang=English	車で15-20分
★★★★★	ルネッサンスソウル	www.renaissance-seoul.com/rns2013/main/RnsMain.php	車で5-10分
★★★★★	インペリアルパレス	www.imperialpalace.co.kr/	車で15-20分
★★★★	ノホテルアンバサダー江南	novotel.ambatel.com/gangnam/main.amb	車で15-20分
★★★★	エルルイ	www.ellui.com/main/main.asp	車で10-15分
★★★★	リベラソウル	www.hotelriviera.co.kr/index.asp	車で10-15分
★★★★	ラマダソウル	www.ramadaseoul.co.kr	車で5-10分
★★★	イビスソウル	ibishotel.ibis.com/gb/home/index.shtml	徒歩15-20分
★★★	サムジョン	www.samjunghotel.co.kr/	車で10分
レジデンス	オークウッド	www.oakwoodpremier.co.kr	会場
レジデンス	カサビル(コーアップサムスン)	www.casavillesamsung.co.kr/main/index.php	徒歩10-15分
レジデンス	ソウルレジデンス	www.seoulresidence.kr	徒歩10-15分

※ ホテルとCOEX間のシャトルバス運行予定 ※ コースホステルなどにつきましてはホームページをご覧ください。



www.icoh2015.org

大会会場 | coex COEXコンベンションセンター紹介

交通と通信、先端ビジネスのインフラをすべて備えたグローバルビジネスの中心地であり、アジア最高の展示・文化・観光の名所として、国際貿易と文化交流の場を提供する目的で1979年3月にオープンした韓国最大の総合展示館です。36,000㎡(延面積430,000㎡)規模の地上4階、地下4階の施設には、12の専門展示室と7,000人を同時に収容できるコンベンションホールをはじめ、61個の会議室があります。また、国際ビジネスのための総合的なサポート体制が整っており、年間150回以上の専門展示会、各種の国際会議やイベントが開催されます。

住所 ソウル江南区三成洞貿易センターコエックス 〒135-731(+82-2-6000-0114)

ウェブサイト www.coex.co.kr

交通アクセス

地下鉄: 2号線 5,6番出口 

仁川国際空港 

- ・一般リムジン 6006番 (料金 大人9,000ウォン)
- ・都心空港ターミナル高級リムジン (料金 大人15,000ウォン)

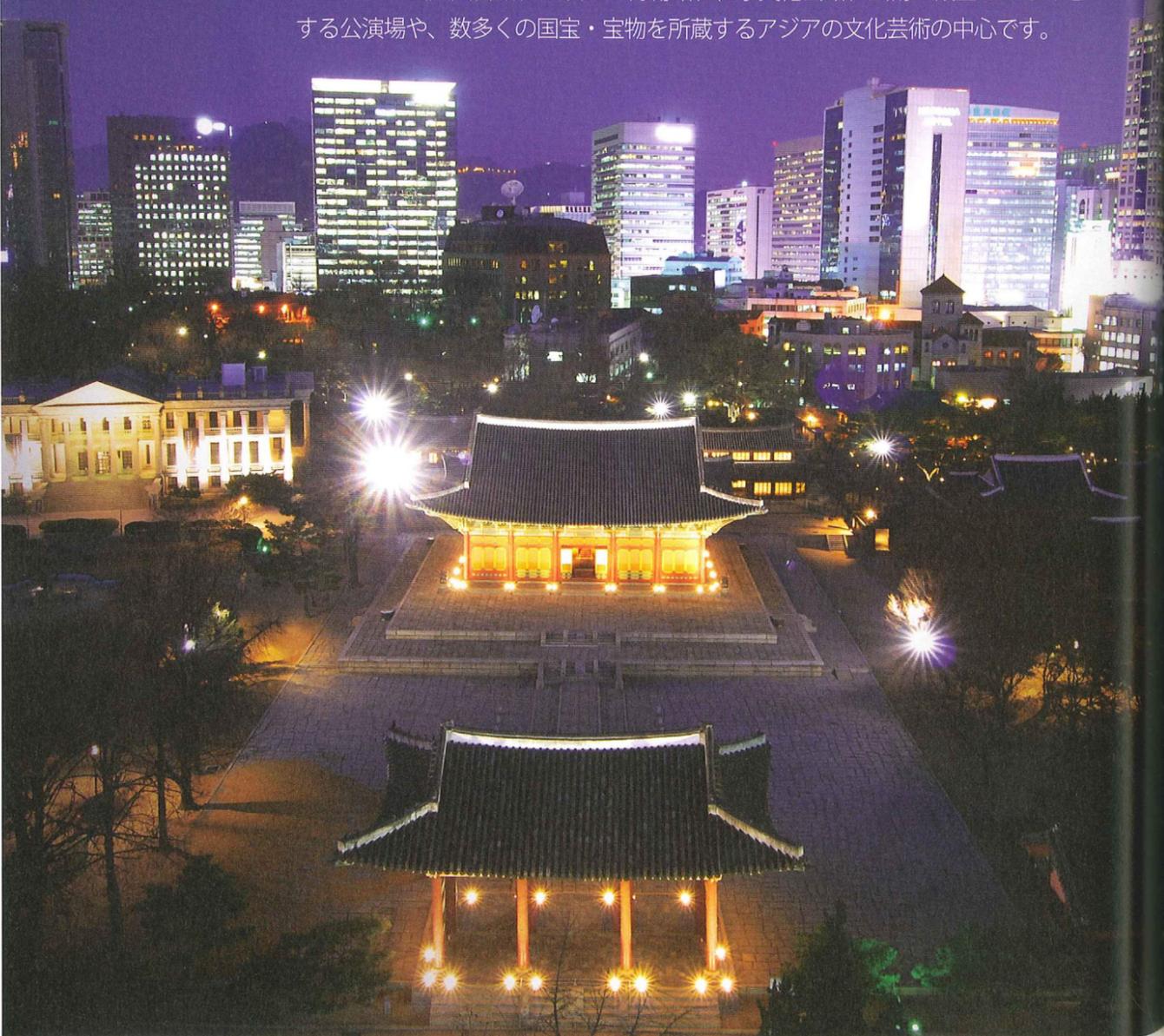
※ 詳しい交通案内につきましてはウェブサイトをご覧ください。



韓半島の西側中心部に位置する大韓民国の首都ソウルは、漢江（ハンガン）が流れ、秀麗な山に囲まれており、世界の多くの首都の中でも優れた景観を誇る韓半島の中心地です。

東北アジア ビジネスの中心地として、金融と物流の高い効率性と先端デジタル産業および知識産業の高い競争力を備えています。世界的な消費と物流の拠点として、空港、高速鉄道、高速道路、周辺の港湾施設という優れた交通体系を備えて東北アジアのビジネスのハブとしての役割を果たしています。

また、24の公共図書館、50以上の博物館、世宗文化会館、芸術の殿堂をはじめとする公演場や、数多くの国宝・宝物を所蔵するアジアの文化芸術の中心です。



ホームページ www.visitseoul.net

韓国の観光情報

気候



温帯地域に属する韓国は、四季折々の変化に富んでいます。

韓国では6月の初めに初夏を迎えます。平均気温は21度から26度の間です。早朝と日没の頃には薄いジャケットが必要です。

食べ物



食事は韓国旅行で最も大きな楽しみの一つとすることができます。韓国の食べ物は栄養が豊富でカロリーが低い様々な醗酵食品と野菜が用いられており、味だけでなく健康にも良いことで知られています。プルコギ、ビビンパは世界的にも人気の食べ物です。食事の際には器を手で持ち上げずに、一緒に食事をしている人が食べる速さに合わせて食べるのが韓国の食事の作法です。食事を終えたら、さじと箸は食前に置かれていた状態に戻します。

貨幣



韓国の貨幣はウォンです。紙幣は1千ウォン札、5千ウォン札、1万ウォン札、5万ウォン札があり、コインは10ウォン、50ウォン、100ウォン、500ウォンがあります。1ドルあたり約1,100ウォンのレートで両替することができます。トラベラーズチェックや外国の通貨は、外換銀行やその他の両替所で韓国ウォンに両替することができます。(為替レートは状況によって流動的です)

パスポートとビザ



韓国を訪問するすべての訪問客は、有効なパスポートとビザを所有していなければなりません。韓国と特別な協約を結んでいる国の訪問客は、ビザの免除を受ける事もでき韓国にノービザで30日あるいは90日まで滞留することができますが、これは両国の間の協約によって異なります。より詳しい情報をご希望の場合は、海外にある韓国領事館や大使館にお問い合わせるか、ホームページ(www.korea.netまたはmofa.go.kr)をご参照ください。

韓国へのビザなし入国
(30日)が可能な国

外交・官用：外交・官用
旅券所持者に対してのみ
ビザなし入国が許可されています。

(50の国または地域)

区分	可能な国
アジア(6)	香港(90日),日本(90日),マカオ(90日),ブルネイ(30日),台湾(90日),インドネシア(外交・官用、30日)
アメリカ大陸(7)	米国(90日),カナダ(6ヶ月),アルゼンチン(30日),ホンジュラス(30日),パラグアイ(30日),ガイア私(30日),エクアドル(30日)
ヨーロッパ(11)	モナコ(30日),法王庁(30日),スロベニア(90日),クロアチア(90日),アルバニア(30日),四イプラス(30日),サンマリノ(30日),アンドラ(30日),ボスニア・ヘルツェゴビナ(30日),セルビア(90日),モンテネグロ(30日)
太平洋(13)	グアム(30日),ナウル(30日),ニューカレドニア(30日),ミクロネシア(30日),ソロモン諸島(30日),キリバス(30日),フィジー(30日),マーシャル群島(30日),パラオ(30日),サモア(30日),オーストラリア(90日),ツバル(30日),トンガ(30日)
アフリカ・中東(13)	南アフリカ共和国(30日),スワジランド(30日),エジプト(30日),モーリシャス(30日),セイスヘル(30日),サウジアラビア(30日),アラブ首長国連邦(30日),イエメン(30日),オマーン(30日),カタール(30日),クウェート(30日),レバノン(外交・官用、30日),バーレーン(30日)

2013.8.19現在 (資料：外交通商部)

主催



ICOH (International Commission on Occupational Health: 国際産業保健学会)は、産業安全保健分野の学術的な進展と知識の開発および発展に貢献している国際的な専門家組織です。1906年にイタリアミラノに設立されたICOHは、現在93カ国2000人以上の会員が活動しています。ICOHは国連認定非政府組織として、国際労働機関 (ILO)、世界保健機関 (WHO)、国際社会保障協会 (ISSA)、国際人間工学連合 (IEA)、国際労働衛生工学会 (IOHA) と緊密に協力しつつ活動しています。

www.icohweb.org



韓国産業安全保健公団 (KOSHA)

1987年12月に設立された韓国産業安全保健公団は、「働く人の命と健康を守る」というミッションを追求し、労働災害の予防に力を注ぎ、勤労者の安全と保健のために献身してきました。韓国産業安全保健公団は、労働災害予防の一貫として、災害予防技術の研究・指導および開発・普及、災害予防施設の設置および運営に注力しています。また、先進国と技術協力を締結し、各種の国際会議とセミナーを誘致するなど、産業安全保健の世界化にも力を集中させています。

韓国産業安全保健公団のすべての職員は、専門性と創意力を基盤として皆さんに感動していただける最高の安全保健サービスを提供するために努めています。

www.kosha.or.kr



大韓職業環境医学会は1988年に創立され、約1,000人の韓国の職業医学および環境医学の専門家によって構成されている団体です。

職業医学は働く人の健康を維持・増進し、病期を予防するための学問であり、環境医学は私たちの周辺の環境の中に存在する有害因子によって発生しうる健康障害を予防し、診断・治療をするための学問です。

大韓職業環境医学会は、職業性疾患の予防および管理と共に、環境性疾患の予防対策の樹立、診断基準および診療指針の作成を通じて、環境医学に対する国民の要求を満たすために努めています。職業医学と環境医学の成長と発展のために最善を尽くしています。

www.ksoem.org

後援



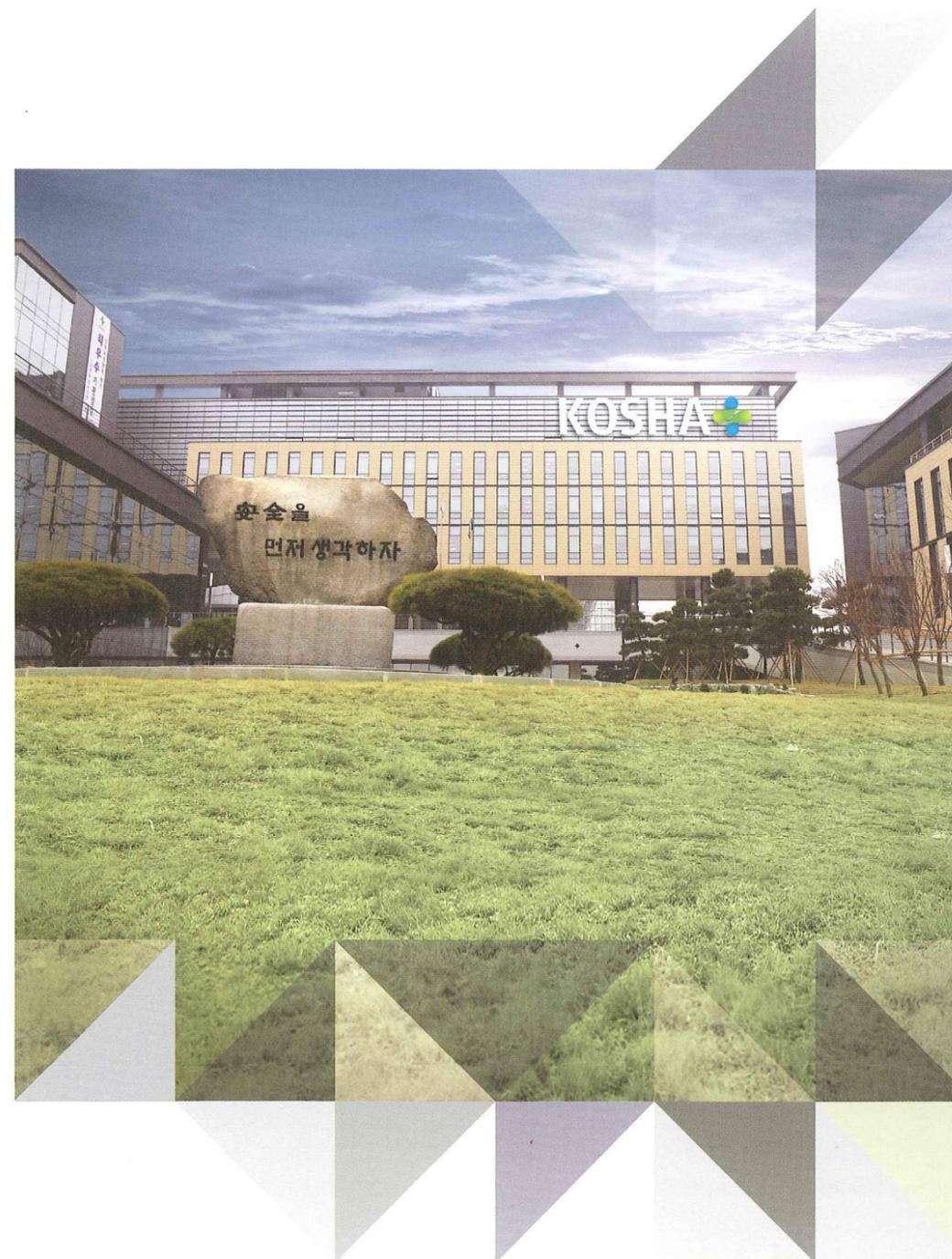
韓国雇用労働部

雇用労働部は「共に働く国、幸福な国民」というビジョン達成のために、

- ・雇用率70%以上達成・雇用の質の向上
- ・活力のある安全でしっかりとした職場の造成
- ・未来創造型の共生を目指す労使関係の構築により国家の発展と国民の幸福を達成することを目標としています。

主な業務として、美しい共生の労使関係の構築、勤労基準の遵守、産業安全保健、雇用政策と雇用サービスおよび職業能力政策として労働者の自負心の向上にも力を注いでいます。また幸福な共創する職場の形成のための、雇用の平等と、世界の労働情報の提供のための国際協力などの業務にもまい進しています。

www.moel.go.kr



第31回 国際産業保健会議事務局

韓国蔚山広域市中区ジョンガ路400(北亭洞) 〒681-230

Tel: +82-52-703-0747~754 | Fax: +82-52-703-0326

E-mail: icoh2015@kosha.or.kr

www.icoh2015.org



主催



**KOREAN SOCIETY OF OCCUPATIONAL &
ENVIRONMENTAL MEDICINE**

後援



www.icoh2015.org